

関係者評価実施日
2025 年 8 月 6 日

令和 6 年度
自己点検・自己評価、及び学校関係者評価報告書

学校法人 順正学園
九州医療科学大学専門学校
(旧校名：九州保健福祉大学総合医療専門学校)

学校関係者評価委員

○ 学外委員(順不同)

- 小牟田 佐知子 様 : 本校学校関係者評価委員会 委員長
宮崎医療生活協同組合 看護介護統括部長
- 重永 康子 様 : 本校非常勤講師
元潤和会記念病院総看護師長兼財団本部介護看護部長
元熊本県立大学総合管理学部 准教授 他
- 岩部 仁 様 : 宮崎善仁会病院 統括看護部長
- 山田 光子 様 : 本校非常勤講師
医学博士(大阪大学)、薬剤師、臨床検査技師
元南九州大学園芸学部及び健康栄養学部 教授 他
- 高見 理恵 様 : 保護者代表 学校法人順正学園教育後援会 副会長(候補)
- 児玉 隆一 様 : 本校卒業生 訪問看護ステーション湯癒亭 看護師

○ 学校内委員

- 園田 徹 : 学校長
- 後藤 美樹 : 副校長
- 中村 明子 : 看護学科長
- 川島 香理 : 教務主任
- 藤井 章 : 事務長
- 小寺 秀樹 : 事務長代理
- 白神 良憲 : 事務室 課長

令和6年度自己点検・自己評価、及び学校関係者評価報告書

I. 本校の教育目標

1. 今まで同様、学修成果を目に見える形にし、学修者本位の教育を実践することで、看護師国家試験合格率及び入学定員充足率 100%を目指す。
2. 広報戦略として組織的にパンフレットやホームページの再構成に取り組み、学科の魅力ある教育活動の発信に努める。
3. 退学者ゼロ及び県内就職率 60%以上を目指す。

II. 教育目標を実現するための行動指針と点検結果

1. 看護師国家試験は協力体制を整え全学年で対策を講じ合格率 100%を目指す。

- 1) 学生が段階的、主体的に単位が習得できるよう各学年運営の指導計画を立案し実践する。
- 2) 教員各自が国家試験の出題傾向を踏まえた講義、実習指導を実践する。
- 3) 国家試験対策や臨地実習において学生が思考し評価修正していく力を引き出し、知識の定着を図る。
- 4) 教員間で情報共有を行い、学生の学力やモチベーションを見極め、時宜を得た対策を講じる。
- 5) 定期的に臨地実習での問題点を共有し、教員の実習指導における指導力を強化する。

【点検結果】

3 年生は国家試験対策、模擬試験などを計画的かつ学生の状況を考えながら実施し、国家試験合格は既卒を含み 100%であった。

学生一人ひとりの学習面や精神面のレディネスに応じて、各教員が個別的な指導が展開できるように、定期的にミーティングを実施した。指導教員に対しての助言や専任教員からの学生への介入を実施し、臨地実習は全員履修できた。

2. 本校の魅力や強みを発信し入学定員充足率100%を維持する。

- 1) 事務室と連携し、学校紹介に繋がる行事やイベントへの積極的な参加、パンフレット・HP での卒業生による紹介など高校生や保護者、実習施設に本校の特色や魅力を PR する。学校見学会に参加できない学生についての個別説明を実施する。
- 2) 地域の中で求められる人材を送り出すことで本校の社会的評価や信頼度を高め、入学希望者の増加に繋げていく。

【点検結果】

予定通り学校見学会を 3 回実施（6/23, 7/28, 8/25）し、予約外の生徒及び保護者には 9 月の土曜日を中心に、個別見学の形で随時対応した。学校紹介に繋がる看護協会でのイベントや高校生向け説明会にも参加し、入学定員の確保に向けて、事務室と連携し積極的に PR を継続したが、入学定員充足率は 38%（23 人/60 人）であり目標達成に至らなかった。

3. 学生の就学困難な兆候を見逃さず対応し成績不振による退学者ゼロを目指す。

- 1) 教員間で必要な情報を共有することで、学生の状況を把握し学生の心身の変化を見逃さず、受講状況、学習内容の理解状況に応じて個別の指導を行う。必要時、保護者を交えて面談し対策

を講じる。

- 2) 看護に魅力を感じることができるよう、また看護師の資格取得に意欲が高まるように講義や実習を通し関わる。
- 3) 入学後の学修の不安や成績不振を改善するため、入学前教育を継続し入学後の指導に活かす。
- 4) 学習会やオリエンテーション等、学年を越え学生同士が交流できる機会を設け、学生生活のモチベーションの向上に繋げる。

【点検結果】

教員間で必要な情報交換を行い、学年担任、チューター及び実習指導教員が細かく対応した。家庭での協力も得られるように保護者への連絡、面談を実施した。入学時オリエンテーション、実習オリエンテーション、看護技術、看護過程等を先輩から指導を受ける機会を設定し交流を図り、特に臨地実習においては、不安の軽減に繋がっていた。

本年度は、退学者が9名であった。退学理由は、精神疾患や就職等の進路変更などであり、成績不振が直接の原因での退学はなかった。

4. 県内就職率 60%を維持する。

- 1) 県内に就職した卒業生の状況や病院からの資料は優先的に掲示、伝達する。
- 2) 県内に就職した卒業生が来校した際は、在校生に病院や看護の魅力を伝える機会を設ける。
- 3) 臨地実習の機会を活用し、看護部長・病棟師長・指導者などから看護の魅力や就職に繋がる病院情報を得る機会を積極的に設ける。
- 4) 宮崎県看護師等修学資金、県内の病院奨学金制度などの活用について学生状況を見極めつつ勧めていく。

【点検結果】

県内の病院、施設の就職情報を優先的に掲示し、卒業生が来校した際は、在学生に就職状況や看護師の魅力などについて話してもらう機会を設け、実習時には各病院の魅力を伝える内容のオリエンテーションを実施した。

しかし、福岡等の県外就職が多く、進学を除いた県内就職率は53.8%であり、目標達成に至らなかった。全学年を通して宮崎県看護師等修学資金受給は3名であり定員枠を下回っている状況でもある。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

全体的に適正に学校運営が行われている。

特筆すべきは、国家試験に全員合格している事実で、教育成果としても意義がある。

学生募集が厳しいことは、看護業界全体の課題でもある。医療人材の確保に向けて看護業界も危機感を抱いている。

防災への対応が改善されている。

Ⅲ. 評価（評価項目の達成状況、及び今後の取り組みについて）

＊評価点数 適切「4」、 ほぼ適切「3」、 やや不適切「2」、 不適切「1」

(1)教育理念・目標

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	学校の理念・目標・育成人材像は定められているか	4	4
2	学校における職業教育その他の教育指導等の特色は定められているか	4	
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想が示されているか	4	
4	学校の理念・目標・育成人材像・特色将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	
5	学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに沿って方向付けられているか	4	

【特記事項】

建学の理念、教育目標、3つのポリシー「アドミッションポリシー（求める学生像）、カリキュラムポリシー（教育課程編成の考え方）、ディプロマポリシー（卒業認定の方針）」を定めており、それらはホームページ（情報公開—教育課程の編成と実施方法—）で公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。
理念等が明確に示されている。

(2)学校運営

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	
3	運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか。有効に機能しているか	4	
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4	
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	
6	業界や地域社会等に関するコンプライアンス体制が整備されているか	4	
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	
8	情報システム等による業務の効率化が図られているか	4	

【特記事項】

年度毎の事業計画（学科部門・事務部門）を策定し、理事会に前年度の結果報告と、当該年度の目標を発表している。

各種規程は適切に運用しており、学内イントラネットシステムを利用して全教職員が条文を閲覧することが可能となっている。

教職員会議を毎月一回開催しており、合議制による学校の意思決定を担保している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

(3)教育活動

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4	
5	関連分野の企業・関係施設等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習)が体系的に位置づけられているか	4	
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	
9	成績評価・単位評価、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保しているか	4	
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	

【特記事項】

本校は、「教育基本法及び学校教育法並びに保健師助産師看護師法の本旨に則り、高度の専門知識と技能及び幅広い教養を兼備した優秀な看護師の養成し、地域の保健、医療の発展・向上に寄与する」ことを目的としている。(学則第1条)

教育課程の編成においては、看護師等養成所の運営に関する指導ガイドラインに準拠してカリキュラムを組んでいる。

また、本校履修規程、及び履修細則により、単位認定基準を定め、適正かつ厳正に学修評価を行っている。その上で、学科会議、教職員会議において進級判定を行い、卒業については卒業判定会議を経て認めている。

教員資格は要件を満たした教員を確保し、教育体制を整えている。

個人研究費を有効活用し研修等への参加を奨励している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

3) カリキュラムは適切に組まれ、効果的な教育が行われている。

5) 関連分野との連携が行われ、教育活動への反映、教育内容の見直しがされている。

7) 授業評価を年1回している。授業に反映されている。

(4)学修成果

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	就職率の向上が図られているか	4	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4	
3	退学率の減少が図られているか	4	
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	
5	卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	

【特記事項】

就職率は100%を達成した。その内、宮崎県内就職率は53.8%と目標値（60%）に届かなかった。

国家試験に関しては、卒業生全員が合格（54人）した。

退学者は昨年度の26人から9人に減少した。特に、成績不振が原因の退学者が0人であったことは、問題の早期発見、多様化する学生への個別対応が功を奏したと考えられる。

在校生は、実習を通じて卒業生の社会的な活躍を知る機会を得ており、将来への具体的な展望を描いている。

学生の進学・就職に関する情報を「就職ガイダンス」を通して提供している。

学生一人ひとりにあったキャリア形成は、チューターが卒業まで支援している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

国家試験合格率100%は素晴らしい。教職員一丸となって対応している成果である。

病院側も、県外流出就職を減らすこと、魅力ある職場づくりに努める必要がある。

ステーション等、病院以外の就職目標も希望する。

3) 退学者減少への努力を評価する。丁寧な個別対応の成果が出ている。

(5)学生支援

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4	
7	保護者と適切に連携しているか	4	
8	卒業生への支援体制はあるか	4	
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	

【特記事項】

就職支援体制や相談に関する支援体制は十分に機能している。必要に応じて保護者面談を実施しており、連携できている。高校の「総合的な学習の時間」等に連携協力し、キャリア教育の取組に寄与している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

- 1) 学生に具体的に説明してもらっている。
- 3) 各種奨学金制度を紹介、周知、説明している。多方面にわたって、支援が充実している。
評価は「4」が妥当。

(6)教育環境

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	
3	防災に対する体制は整備されているか	4	

【特記事項】

施設設備の整備は、年次計画を立てた上で実行している。

実習施設とは良好な関係を築いている。実習病院側の実習指導者講習会の受講状況は向上しており、実習生には貴重な経験になっている。

法令に基づく防火・防災の機器備品の検査点検を専門業者の仲介により行っている。教職員全員を対象に、地震時・火災時の避難について、消防局による研修（2024/11/11）を実施した。なお、学生参加の避難訓練は2025年9月8日に実施することにした。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

- 3) 防災について具体的な対策が行われ、改善されている。

(7)学生の受入れ募集

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3	3.7
2	学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	
3	学納金は妥当なものとなっているか	4	

【特記事項】

学生募集活動に積極的に取り組んだものの、2025年度の入学者数は定員(60)に満たない23人だった。国家試験の合格率が高いことは高く評価されているが、18歳人口減少と看護大学志向の影響を被っている。

学納金については、近隣の医療看護系専門学校と比較しても妥当な額である。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

募集活動に更なる工夫が必要。ホームページの充実、SNSでの発信。看護師資格の魅力の周知。学校の特色発信。看護業界、病院側も看護の魅力、やりがい、働きやすさなどの発信に努める。

(8)財務

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	

4	財務情報公開の体制整備は適正に行われているか	4	
---	------------------------	---	--

【特記事項】

財務における諸手続きは適正になされており、予算・収支計画については事業計画に対して適切に執行している。財務情報は本校のホームページに公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

(9)法令等の遵守

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
2	個人情報に関しその保護のための対策がとられているか	4	
3	自己点検・評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	
4	自己点検・評価を公開しているか	4	

【特記事項】

関係法令や設置基準を遵守し適正な運営をおこなっている。

個人情報保護規程（順正学園）により、個人情報の取得、利用、保管、取り扱いについて定めている。

毎年度、事業計画を立て、実行経緯と結果について自己点検・評価を行っている。また、自己点検の内容を学校関係者評価委員会が評価する制度を設けている。

自己点検報告書として、ホームページで公開している。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

(10)社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	自己点検	関係者評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4
2	学生のボランティア活動を奨励しているか	3	
3	地域に関する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	

【特記事項】

本校施設を開放した地域貢献は行っていないが、高校や専修学校各種学校連合会等から看護分野の出前授業等の依頼に対応している。

学生にはボランティア活動を奨励しているものの、授業や実習に追われているため参加実績は限られ統計をとっていない。

県看護協会による実習指導者講習会への講師派遣に応えている。

【学校関係者委員会の意見・総評等】

適正である。

1) 教育資源には教員も含まれ、出前授業で講師派遣など実績がある。評価は「4」が妥当。

2) 病院に学生ボランティアとして来てもらい非常に助かった。今後もお願いしたい。

ボランティアの意義を理解し、活動を奨励している。評価は「4」が妥当。